

【】 聖徳太子の政治改革

[聖徳太子が摂政となる]

[問題](1 学期期末)

6 世紀，地方で豪族が反乱を起こし，中央でも蘇我氏や物部氏が権力争いをくりひろげていた。この争いを和らげるために女性の推古天皇が即位すると，おいの()が摂政になり，蘇我馬子と協力しながら，中国や朝鮮に学んで，大王を中心とする政治制度を整えようとした。文中の()にあてはまる人物名を答えよ。

[解答欄]

[解答]聖徳太子

[解説]

6 世紀になると，地方で豪族が反乱を起こし，中央でも蘇我氏や物部氏が権力争いをくりひろげていた。蘇我氏は，外国の宗教である仏教をとり入れようとして，これに反対する物部氏と争ってほろぼし，政府内で大きな力をふるった。

一方，中国では 589 年に隋が中国を統一して強大な帝国をつくりあげ，国際的緊張が高まった。

こうした内外の危機的な情勢の中，593 年に女性の推古天皇が即位し，そのおいの聖徳太子が摂政にな

った(五組(593)いっしょに裁く聖徳太子)。摂政とは，天皇が女性であ

ったり幼少であったりするときに置かれることがあり，天皇の代理として政治を行う役職で

ある。聖徳太子は蘇我馬子と協力して大王(天皇)を中心とする政治制度を整えようとした。

当時の政治の中心は飛鳥地方であった。

※この単元で特に出題頻度が高いのは「聖徳太子」「摂政」である。「推古天皇」の出題頻度も高い。「蘇我氏」「蘇我馬子」もときどき出題される。

[聖徳太子]

587年 蘇我氏が物部氏をほろぼす

589年 隋が中国を統一

593年 聖徳太子が推古天皇の摂政になる

蘇我馬子と協力して政権をにぎる



[問題](2 学期中間)

次の文中の①～④に適語を入れよ。

6 世紀になると，地方で豪族が反乱を起こし，中央でも(①)氏や物部氏が権力争いをくりひろげていた。この争いを和らげるため，女性の推古天皇が即位し，そのおいの(②)が(③)という地位についた。このころ中国では(④)が強大な帝国をつくりあげたが，(②)は(①)馬子と協力して，(④)のような進んだ国を作るために政治制度を整えようとした。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 蘇我 ② 聖徳太子 ③ 摂政 ④ 隋

[問題](1 学期期末)

次の文の A, B, C の人物名を書け。

A は、おぼの B が天皇になったとき、実力者の C と協力して、政治舞台にあらわれた。C は 587 年に物部氏をほろぼし、592 年に対立していた崇峻天皇を暗殺した。即位した女帝 B はおいの A を 593 年に摂政とし、国政を担当させた。

[解答欄]

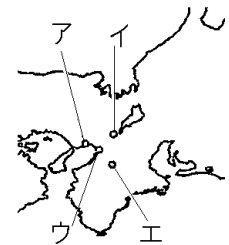
A	B	C
---	---	---

[解答]A 聖徳太子 B 推古天皇 C 蘇我馬子

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 日本に仏教が伝わった後、仏教を取り入れようとして物部氏と争って勝利し、大きな力をもったのは何氏か。
- (2) 589 年に中国を統一した国の名を書け。
- (3) 聖徳太子は(①)天皇を助けるために(②)という位について政治を行った。①, ②に適語を入れよ。
- (4) (3)のころ、政治の中心であった場所を、右の地図中のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
(4)			

[解答](1) 蘇我氏 (2) 隋 (3)① 推古 ② 摂政 (4) エ

[問題](2 学期期末)

聖徳太子は推古天皇の摂政となったが、摂政という役職の内容を、「天皇」という言葉を使って説明せよ。

[解答欄]

[解答]摂政とは、天皇が女性であったり幼少であったりするときに置かれることがあり、天皇の代理として政治を行う役職である。

[問題](2 学期中間)

国の支配者である「大王」ということばは、7 世紀ごろに別の呼び方になっている。何という呼び方になったか。

[解答欄]

[解答]天皇

[解説]

大王はのちに「天皇」と呼ばれるようになったが、その時期については、遣隋使を派遣した推古天皇のころという説と、大王(天皇)の地位がおおはばに高まった天武天皇、持統天皇のころ(7 世紀後半)という説とに分かれている。

[冠位十二階]

[問題](1 学期期末)

家柄にとらわれず、才能や功績のある個人を役人に取り立てるために、聖徳太子が定めた制度は何か。

[解答欄]

[解答]冠位十二階

[解説]

聖徳太子は、国家の仕組みを整えるため、603 年に冠位十二階を、604 年に十七条の憲法を定めた。冠位十二階は、役人の位を冠の色(紫色が最高位)で区別する制度で、家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てようとするものであった。

[[冠位十二階]]
家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるための制度

※この単元で特に出題頻度が高いのは「冠位十二階」である。「家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため」もよく出題される。

[問題](2 学期中間)

聖徳太子が制定した、冠位十二階の制度の目的を「家柄」「才能や功績」という語句を使って簡潔に説明せよ。

[解答欄]

--

[解答]家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため。

[十七条の憲法]

[問題](2 学期中間)

次の資料について、後の各問いに答えよ。

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗と(第一に)せよ。

二に曰く、あつく三宝を敬へ。三宝とは仏・法(仏教の教え)・僧なり。

三に曰く、詔(天皇の命令)をうけたまわりては必ずつつしめ(守りなさい)。

(1) この資料は何か。

(2) (1)を制定した人物は誰か。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 十七条の憲法 (2) 聖徳太子

[解説]

[十七条の憲法]

役人の心構えを示した 聖徳太子が制定

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ(争いをやめよ)

二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり (仏教を重んじよ)

三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ (天皇の命令に従え)

聖徳太子は、604年に十七条の憲法を定め、仏教を重んじるべきことや天皇の命令に従うべきことなど、役人の心構えを示した。

「一に曰く、和をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗とせよ」とは「和を尊び、争いをやめよ」という意味である。この記述からも、当時、豪族間の対立が激しかったことがわかる。

「二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり」とは「仏教を重んじよ」という意味である。聖徳太子は、仏教をさかんにすることで豪族間の対立をやわらげ、仏教を共通の信仰として国家の統一をはかろうとした。

「三に曰く、詔^{みことり}をうけたまわりては必ずつつしめ」とは「天皇の命令を受けたときは、必ずこれに従え」という意味である。この当時、天皇^{おおきみ}(大王)の命令(詔^{みことり})が必ずしも守られていなかったことがうかがえる。

※この単元で特に出題頻度が高いのは「十七条の憲法」「聖徳太子」である。「役人の心得」「和」「詔」「三宝」もよく出題される。

※このころの大和政権は、豪族の連合政権であり、天皇(大王)の権力は絶対的なものではなかった。聖徳太子は、これを改めて、天皇を中心とする体制をめざしたのである。しかし、実際に、天皇中心の中央集権国家ができるのは、大化の改新(645年)と壬申の乱(672年)以降であった。

[問題](1 学期期末)

次の資料について、後の各問いに答えよ。

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり。

三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ。

- (1) 上の資料は何の一部か。
- (2) これを制定した人物名を漢字で答えよ。
- (3) これを制定した人物は何という天皇の摂政となったか。
- (4) 上の資料の条文は何世紀の初めに制定されたか。
- (5) (2)の人物は(1)で、役人のどのような心構えを示したか。資料の二と三の内容にふれて説明せよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 十七条の憲法 (2) 聖徳太子 (3) 推古天皇 (4) 7世紀初め (5) 仏教を重んじるべきことや天皇の命令に従うべきことなどの役人の心構え。

[問題](1 学期中間)

次の資料を見て、後の各問いに答えよ。

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく a 三宝 を敬え。…

三に曰く、b 詔 をうけたまわりては必ずつつしめ。

(1) 資料は何というか。

(2) 資料中の下線部 a で、「三宝」にあてはまらないものを次の[]から 1 つ選べ。

[仏 徳 僧 法]

(3) (1)を出した人物とともに、仏教を広めようとしたのは何氏か。

(4) 資料中の下線部 b は国家の中心となる地位にある人からの命令のことである。この地位にある人を何というか。

(5) 資料は誰のための心構えであるか。次の[]から 1 つ選べ。

[役人 農民 奴隷]

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 十七条の憲法 (2) 徳 (3) 蘇我氏 (4) 天皇(大王) (5) 役人

[問題](1 学期期末)

次は聖徳太子が定めた十七条の憲法の一部である。①～④に適語を入れよ。

一に曰く、(①)をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく(②)を敬え。(②)とは(③)・法・僧なり。

三に曰く、(④)をうけたまわりては必ずつつしめ。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 和 ② 三宝 ③ 仏 ④ 詔

[問題](1 学期中間)

十七条の憲法の中の「詔をうけたまわりては必ずつつしめ」の意味を分かりやすく書け。

[解答欄]

--

[解答]天皇(大王)の命令を受けたときは、必ずこれに従え。

[遣隋使]

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 聖徳太子は進んだ文化や制度を取り入れようと中国へ使節を送った。この使節を何というか。
- (2) (1)の使節として送られた人物は誰か。1人あげよ。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 遣隋使 (2) 小野妹子

[解説]

589年に隋が中国を統一し、強大な帝国をつくりあげた。

聖徳太子は、607年に小野妹子を遣隋使として派遣した。

聖徳太子が隋の皇帝にあてた国書には、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子にいたす。つつがなきや」とあった。「日出づる処の天子」とは、太陽の昇る東の方にある国、すなわち日本の天皇のことであり、「日没する処の天子」とは、日が沈む西の方向にある国、すなわち中国の皇帝のことをさしている。隋の皇帝は「蛮人たちの手紙には無礼なものがある。そういったものは、もう二度と耳に入れるな」と怒ったという。聖徳太子は、以前の朝貢外交ではなく、対等な立場での国交を求めたのである。隋と対等な国交を結ぶことで東アジアでの日本の立場を有利にすることと、隋の進んだ制度や文化を取り入れることが遣隋使派遣の目的であった。遣隋使が持ち帰った中国の文化により、日本ではじめての仏教文化が栄えた。

隋は大運河の建設や外征を行ったが、兵役や重税に苦しむ農民の反乱によって滅び、618年に唐が中国を統一した。

※この単元で特に出題頻度が高いのは「遣隋使」「小野妹子」である。「隋」の出題頻度も高い。

[対外関係]

- 589年 隋が中国を統一
- 593年 聖徳太子が摂政になる
- 607年 遣隋使(小野妹子)
- 618年 唐が中国を統一

[問題](1 学期期末)

次の資料は聖徳太子が中国の皇帝に送った手紙の一部である。これについて、後の各問いに答えよ。

①日出づる処の天子、書を②日没する処の天子にいたす。つつがなきや・・・

- (1) 下線部①にあてはまる国名と下線部②にあてはまる中国の王朝名を書け。
- (2) 資料の手紙を持っていった使いの人物は誰か。
- (3) 聖徳太子が資料のような書き方をした理由を、「対等」という語句を使って説明せよ。

[解答欄]

(1)①	②	(2)
(3)		

[解答](1)① 日本 ② 隋 (2) 小野妹子 (3) 隋と対等な外交関係を結ぶため。

[問題](1 学期期末)

聖徳太子が遣隋使を派遣した目的を、「対等」「制度や文化」という語句を使って簡潔に説明せよ。

[解答欄]

--

[解答]隋と対等な国交を結ぶことで東アジアでの日本の立場を有利にすることと、隋の進んだ制度や文化を取り入れること。

[問題](1 学期期末)

次の文中の①，②に適語を入れよ。

中国では、6世紀の末に、(①)が強大な帝国をつくりあげた。やがて、7世紀のはじめには、(①)にかわって(②)が中国を統一した。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 隋 ② 唐

[全般]

[問題](1 学期期末)

次の年表を見て、後の各問いに答えよ。

年代	おもなできごと
589 年	()が中国を統一する。…A
593 年	女性の天皇が即位し、そのおいが天皇の代理で政治を行う。…B
603 年	かんむりの色などで地位を区別する制度を制定。…C
604 年	()の憲法が制定される。…D
607 年	中国に使節を送る。…E
618 年	()が中国を統一する。…F

- (1) 年表中の A の()内に中国の王朝名を入れよ。
- (2) 年表中の B について、次の各問いに答えよ。
- ① この天皇の名前を答えよ。
 - ② 天皇の代理で政治を行う役職を何というか。
 - ③ ②の役職についての人物の名前を答えよ。
- (3) 年表中の C の制度は何か。
- (4) 年表中の D について、次の各問いに答えよ。
- ① ()に適する語句を答えよ。
 - ② 次はこの憲法のはじめの 3 条の一部である。ア～ウにあてはまる語句をそれぞれ漢字 1 字で答えよ。
一に曰く、(ア)をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。
二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは(イ)・法・僧なり。
三に曰く、(ウ)をうけたまわりては必ずつつしめ。
 - ③ この憲法はどのような人々の心構えを示したのか。漢字 2 字で答えよ。
- (5) 年表中の E について、次の各問いに答えよ。
- ① この使節を何というか。
 - ② 使節として派遣された人物を 1 人あげよ。
- (6) 年表中の F の()内に中国の王朝名を入れよ。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	③
(3)	(4)①	②ア	イ
ウ	③	(5)①	②
(6)			

[解答](1) 隋 (2)① 推古天皇 ② 摂政 ③ 聖徳太子 (3) 冠位十二階 (4)① 十七条 ② ア 和 イ 仏 ウ 詔 ③ 役人 (5)① 遣隋使 ② 小野妹子 (6) 唐

【】 飛鳥文化

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 聖徳太子が建てた現存する世界最古の木造建築の寺院は何か。
- (2) (1)の寺院が建てられたころの、日本で最初の仏教文化を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 法隆寺 (2) 飛鳥文化

[解説]

聖徳太子は、仏教をさかんにすることで豪族間の対立をやわらげ、仏教を共通の信仰として国家の統一をはかろうとした。聖徳太子が建てた法隆寺は、一度焼失し、その後、再建されたが、現存する世界最古の木造建築である。飛鳥地方を中心に日本で最初の仏教文化が栄えたが、これを飛鳥文化といい、法隆寺の釈迦三尊像や法隆寺金堂の壁画がその代表とされている。これらは、おもに朝鮮半島からの渡来人の子孫によってつくられたため、南北朝時代の中国や、さらに遠くインドや西アジアなどの文化の影響を受けている。

[飛鳥文化]

法隆寺, 釈迦如来像

日本で最初の仏教文化



聖徳太子の肖像画



法隆寺



法隆寺の釈迦三尊像



法隆寺の弥勒菩薩像



法隆寺金堂の壁画

※この単元で特に出題頻度が高いのは「法隆寺」である。「飛鳥文化」の出題頻度も高い。

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 右の図1の寺を何というか。
- (2) (1)の寺ができた時代の文化を何というか。
- (3) 図2は(1)の寺にある仏像である。何というか。
- (4) 飛鳥文化の特徴を簡潔に説明せよ。

図1

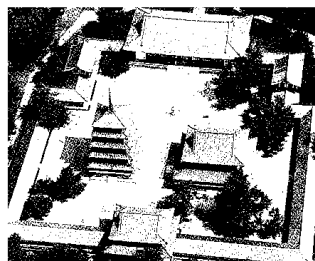


図2



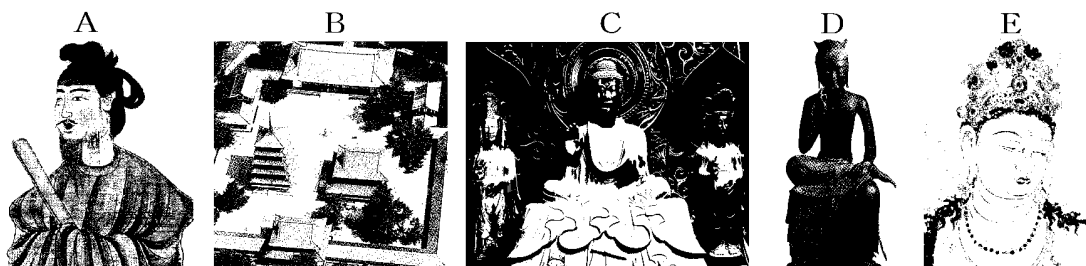
[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		

[解答](1) 法隆寺 (2) 飛鳥文化 (3) 釈迦三尊像 (4) 日本で最初の仏教文化である。

[問題](2 学期期末)

次の A～E の資料について、後の各問いに答えよ。



- (1) 写真 A の人物名を答えよ。
- (2) 写真 B は A の人物が建てた寺である。この寺の名前を答えよ。
- (3) C～E の写真は飛鳥文化の代表的なものである。C～E の作品名を下の[]からそれぞれ選べ。

[法隆寺金堂の壁画 広隆寺の弥勒菩薩像 法隆寺の釈迦三尊像]

[解答欄]

(1)	(2)	(3)C
D	E	

[解答](1) 聖徳太子 (2) 法隆寺 (3)C 法隆寺の釈迦三尊像 D 広隆寺の弥勒菩薩像 E 法隆寺金堂の壁画

[問題](1 学期期末)

飛鳥文化について説明した次のア～エの文の中で、間違っているものを1つ選べ。

- ア 日本で最初の仏教文化だといわれている。
- イ この文化を広めた人たちとして、聖徳太子、蘇我氏、物部氏がいる。
- ウ 仏像などを見ると、中国や朝鮮の影響を大きく受けていることがわかる。
- エ このころ豪族たちは、古墳に代わって寺を建造するようになった。

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

ア, ウ, エは正しい。イが誤り。聖徳太子と蘇我氏が仏教の導入を進めたのに対し, 物部氏は導入に反対し, 蘇我氏と対立した。

[問題](2学期中間)

次の資料の写真は, 左側が韓国の, 右が日本の仏像である。よく似たデザインであるのはどうしてか。「右の日本の仏像は,」という書き出しで, 「渡来人」という語句を使って簡潔に説明せよ。



[解答欄]

[解答]右の日本の仏像は, 朝鮮半島からの渡来人の子孫によってつくられたものであるから。

【】大化の改新

[大化の改新]

[問題](前期期末)

645年、中大兄皇子は中臣鎌足(のちの藤原鎌足)などとともに蘇我蝦夷・入鹿の親子をたおし、帰国した留学生などの協力を得ながら、公地・公民など新しい政治のしくみをつくる改革を始めた。この改革を何というか。

[解答欄]

--

[解答]大化の改新

[解説]

隋は、7世紀の初めには、高句麗への攻撃の失敗などが原因で滅び、新たに唐が中国を統一した。7世紀の中ごろ、唐は高句麗を攻撃し、朝鮮半島の緊張が高まっていた。日本でも、戦争に備え、天皇中心の強力な中央集権国家づくりを急ぐ必要があった。

しかし、聖徳太子の死後、蘇我氏は聖徳太子の一族をほろぼして大きな力をふるっており、中央集権国家とはほど遠い状態だった。そこで、中大兄皇子(のちの天智天皇)と中臣鎌足(のちに藤原鎌足)は、645年に蘇我氏(蘇我蝦夷・蘇我入鹿の親子)をほろぼして実権をにぎり、改革を始めた。中大兄皇子は、大化という年号を定め、翌年、全国の土地と人々を国家のものとし、天皇がそれを支配するという公地・公民の方針を打ち出した。この一連の改革を大化の改新という。(大化の改新むし殺し(645))

※この単元で特に出題頻度が高いのは「大化の改新」「中大兄皇子」「中臣鎌足」である。「蘇我氏」「公地・公民」の出題頻度も高い。

[大化の改新(645年)]

中大兄皇子、中臣鎌足が
蘇我氏を滅ぼす

→ 公地・公民などの改革

[問題](1学期期末)

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

7世紀の中ごろになると、蘇我氏の独裁的な政治に対する不満が高まってきた。(①)(のちの天智天皇)は、(②)(のちの藤原鎌足)らとともに645年、蘇我氏を倒し、一連の政治改革を始めた。この改革を(③)と呼んでいる。この改革では、豪族が支配していた土地と人々を国家の直接の支配の下に置く(④)の方針が打ち出された。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 中大兄皇子 ② 中臣鎌足 ③ 大化の改新 ④ 公地・公民

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 聖徳太子の死後、勢いをふるった豪族は何氏か。
- (2) 645 年、(1)の豪族をほろぼし、後に即位して天皇になった人物は誰か。
- (3) (2)に協力して政治改革を進めた人物で、後の藤原氏の祖先にあたる人物は誰か。
- (4) (2)や(3)の人物が行った政治改革を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 蘇我氏 (2) 中大兄皇子 (3) 中臣鎌足 (4) 大化の改新

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

(①)年、(②)(のちの天智天皇)と中臣鎌足らは蘇我氏をほろぼした。そして、全国の土地と人々を国家のものとする命令を出すなど、天皇中心の国づくりをめざした改革に着手した。

- (1) 上の文の①には数字、②にはあてはまる人物名を入れよ。
- (2) 下線部 を何というか。
- (3) 中臣鎌足が、蘇我氏を倒した功績により与えられた姓(名字)は何か。漢字 2 字で書け。

[解答欄]

(1)①	②	(2)	(3)
------	---	-----	-----

[解答](1)① 645 ② 中大兄皇子 (2) 公地・公民 (3) 藤原

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 大化の改新を始めた人物を 2 人、漢字で書け。
- (2) 大化の改新によってほろぼされた蘇我氏一族の代表的人物 2 人を書け。
- (3) 大化の改新の方針である「公地・公民」の内容を「国家」「人々」「土地」の言葉を使って説明せよ。

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) 中大兄皇子、中臣鎌足 (2) 蘇我蝦夷、蘇我入鹿 (3) 土地と人々を国家の直接の支配下に置く。

[白村江の戦い]

[問題](1 学期中間)

大化の改新の政治改革が行われていたころ、朝鮮半島では、新羅が唐と結んで百済や高句麗をほろぼした。日本は百済を助けるために大軍を送ったが、新羅と唐の連合軍に敗れた。この戦いを何というか。

[解答欄]

[解答]白村江の戦い

[解説]

隋は、7世紀の初めには、高句麗への攻撃の失敗などが原因で滅び、新たに唐が中国を統一した。7世紀後半、朝鮮半島では新羅が統一にのりだし、唐と連合して百済や高句麗をほろぼした。百済ではそののちも豪族が兵を集めて唐や新羅の軍に抵抗し、日本に救援を求めてきた。中大兄皇子は、百済を助けるために大軍を送ったが、663年の白村江の戦いでやぶれ、以後、朝鮮半島から手を引いた。中大兄皇子は、唐や新羅の来襲に備え、大宰府を守るために水城と大野城を築き、また防人という兵士を配置した。中大兄皇子は都を飛鳥から大津宮に移し、即位して天智天皇となり、国内の改革に専念した。新羅はそののち、唐と連合して高句麗もほろぼし、さらに676年には唐の勢力を追い出して、朝鮮半島を統一した。

[白村江の戦い]
 新羅が唐と結んで、百済をほろぼす
 ↓
 中大兄皇子、大軍を送る
 663年 [白村江の戦い]
 ↓ 新羅と唐の連合軍に敗れる
 水城と大野城を築き、防人を配備
 中大兄皇子:即位して天智天皇

中大兄皇子は、唐や新羅の来襲に備え、大宰府を守るために水城と大野城を築き、また防人という兵士を配置した。中大兄皇子は都を飛鳥から大津宮に移し、即位して天智天皇となり、国内の改革に専念した。新羅はそののち、唐と連合して高句麗もほろぼし、さらに676年には唐の勢力を追い出して、朝鮮半島を統一した。

※この単元で出題頻度が高いのは「白村江の戦い」である。

[問題](2 学期中間)

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

7世紀の初め、隋が滅んだあと中国を統一したのは(①)だった。朝鮮半島では(②)が力をつけてきた。7世紀の半ば、朝鮮半島では(②)が(①)と結んで高句麗や百済をほろぼした。中臣鎌足とともに大化の改新を行った(③)を中心とする朝廷は百済の復興を助けるために多くの兵と物資を船で送った。日本と(①)・(②)連合軍との戦いは、663年、朝鮮半島南西部の(④)でおこなわれ、日本側の大敗北に終わった。そののち、(②)は(①)とも戦い、朝鮮半島を統一した。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 唐 ② 新羅 ③ 中大兄皇子 ④ 白村江

[問題](1 学期期末)

663 年に、白村江の戦いで日本軍は大敗した。この戦いは、ある国が日本に救援を頼み、日本が兵を送ったものである。①日本に援軍を頼んだ国名を書け。また、②日本が戦った相手の国を 2 つ書け。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 百済 ② 唐, 新羅

[問題](2 学期中間)

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

663 年の(①)の戦いでの敗北は、日本にとって大きな衝撃だった。中国の(②)と朝鮮半島の(③)の襲来をおそれた日本は、北九州の海辺の守りのために(④)という兵士を配置し、大宰府の防備のために水城や大野城を築いた。

中大兄皇子は都を飛鳥から(⑤)宮に移し、即位して(⑥)天皇となった。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 白村江 ② 唐 ③ 新羅 ④ 防人 ⑤ 大津 ⑥ 天智

[問題](1 学期期末)

白村江の戦いに敗れた日本が、大宰府の防備のために築いた施設は何か。2 つ書け。

[解答欄]

--

[解答]水城, 大野城

[壬申の乱]

[問題](2 学期中間)

次の文中の①, ②に適語を入れよ。

天智天皇の死後、皇位をめぐって(①)の乱が起きたが、これに勝利して即位した(②)天皇は、ふたたび飛鳥に都を移して天皇中心の政治を推し進めた。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 壬申 ② 天武

【解説】

大化の改新以来、30年近くも政治にあたっていた

天智天皇(即位前は中大兄皇子)が死去した翌 672

年、天智天皇の子である大友皇子に対して、天智

天皇の弟である大海人皇子が兵をあげて天皇の

位をめぐる戦いが起こった。これを壬申の乱という。(無理な争い2人(672)でし) 大海人皇子は各地の兵力を結集して勝利をおさめ、大友皇子は自害して果てた。戦いに勝った大海人皇子は、即位して天武天皇になった。

壬申の乱によって、大友皇子側について有力中央豪族が没落したことで、強大な権力を手にした天武天皇を中心に中央集権国家体制の形成が進んだ。このころ、天皇の権威が高まり、神としてあがめようとする天皇の神格化が始まったとされる。天武天皇は、ふたたび飛鳥に都を移して律令や歴史書の編纂を命ずるなど、新しい政治のしくみを強力につくりあげていった。天武天皇の死後は、皇后であった持統天皇が事業を引き継いだ。持統天皇は、道路によってごぼんの目のように区画された、日本ではじめての本格的な都である藤原京をつくるなどして、律令制度を実施する準備を整えた。

※この単元で特に出題頻度が高いのは「壬申の乱」「天武天皇」である。

〔壬申の乱〕(672年)

天智天皇の死後、天皇の位をめぐる争い

勝利した大海人皇子が即位 → 天武天皇

【問題】(2 学期期末)

天智天皇の死後、その子(大友皇子)と弟(大海人皇子)の間で天皇の位をめぐる争いが起こった。これについて、次の各問いに答えよ。

- (1) この戦いを何というか。
- (2) この戦いに勝った大海人皇子は、即位して天皇となった。この天皇の名を書け。
- (3) (2)の天皇は都をどこに移したか。地名を答えよ。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

【解答】(1) 壬申の乱 (2) 天武天皇 (3) 飛鳥

【問題】(1 学期期末)

次の文中の①、②に適語を入れよ。

天武天皇の死後は、その皇后が(①)天皇として即位し、日本ではじめての本格的な都である(②)京をつくるなどして、律令制度を実施する準備を整えた。

【解答欄】

①	②
---	---

【解答】① 持統 ② 藤原

[全般]

[問題](後期中間)

次の年表を見て、後の各問いに答えよ。

年代	おもなできごと
618年	隋が滅び、()が中国を統一する。…A
645年	蘇我氏がほろぼされ、新しい政治のしくみをつくる改革が始まる。…B
663年	()を助けるために出兵するが、唐と新羅の連合軍に敗れる。…C
672年	天皇の位をめぐって内乱がおこる。…D

(1) 年表中の A の()内にあてはまる王朝名を答えよ。

(2) 年表中の B について、次の各問いに答えよ。

- ① この事件に始まる改革を何というか。
- ② 蘇我氏をほろぼした中心人物のうち、後に天皇になった人物は誰か。
- ③ 蘇我氏をほろぼした中心人物のうち、後に藤原姓をたまわった人物は誰か。
- ④ この改革によって、土地と人々を国家が直接支配する方針が示された。何という方針か。

(3) 年表中の C について、次の各問いに答えよ。

- ① ()にあてはまる国名を答えよ。
- ② この戦いを何というか。

(4) (3)の後、(2)の②の人物は即位して何天皇になったか。

(5) 年表中 D の古代史上最大の内乱を何というか。

(6) (5)の内乱に勝利をおさめた人物は即位して何天皇になったか。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	③
④	(3)①	②	(4)
(5)	(6)		

[解答](1) 唐 (2)① 大化の改新 ② 中大兄皇子 ③ 中臣鎌足 ④ 公地・公民 (3)① 百濟
② 白村江の戦い (4) 天智天皇 (5) 壬申の乱 (6) 天武天皇

【】 総合問題

[問題](要点整理)

次の年表中の①～⑳に適語を入れよ。

年代	おもなできごと
589年	(①)が中国を統一する。
593年	(②)が(③)天皇(女帝)の(④)という地位につく。
603年	(⑤)の制度を定め、家柄にとらわれず才能や功績のある人物を登用。
604年	(⑥)の憲法を定めて(⑦)の心得を示す。
607年	(⑧)(人物)を中国の(①)に(⑨)使として送る。 (⑩)文化：日本で最初の仏教文化。(⑪)寺など。
645年	(⑫)の改新：(⑬)(後に天皇)と(⑭)が、(⑮)氏をたおす。 (⑯)：土地と人民を国が直接支配する方針。
663年	(⑰)の戦い：百済を助けるために出兵し、唐と新羅の連合軍と戦うが、敗れる。 (⑬)が即位して(⑱)天皇となる。
672年	(⑲)の乱：(⑱)天皇の後継ぎの地位をめぐる内乱。(⑱)天皇の弟が勝って(⑳)天皇になる。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳

[解答]① 隋 ② 聖徳太子 ③ 推古 ④ 摂政 ⑤ 冠位十二階 ⑥ 十七条 ⑦ 役人 ⑧ 小野妹子 ⑨ 遣隋 ⑩ 飛鳥 ⑪ 法隆 ⑫ 大化 ⑬ 中大兄皇子 ⑭ 中臣鎌足 ⑮ 蘇我 ⑯ 公地・公民 ⑰ 白村江 ⑱ 天智 ⑲ 壬申 ⑳ 天武

[問題](3 学期)

次の年表について、後の各問いに答えよ。

年代	おもなできごと
4～5 世紀	大和政権の全国統一が進む。
589 年	隋が中国を統一する。
593 年	()が、推古天皇の摂政となる。…A
603 年	個人の才能によって役職を与える。…B
604 年	役人としての心構えを定める。…C
607 年	小野妹子を、隋へ使節として送る。…D
618 年	隋が滅びる。…E
645 年	蘇我氏を倒し、政治改革を始める。…F
663 年	唐と新羅の連合軍と戦うが、敗れる。…G
672 年	天智天皇の後継ぎの地位をめぐる内乱が起こる。…H

- (1) 年表中 A の()に人名を書け。
- (2) (1)の人物が建立し、一度焼失したが、その後再建され、現存する世界最古の木造建築である寺院の名前を書け。
- (3) 年表中 B の制度を何というか、書け。
- (4) 年表中 C は、何と呼ばれているか、書け。
- (5) 年表中 D の使節を何というか、漢字で書け。
- (6) 年表中 E について、隋にかわって中国を統一した王朝は何か。
- (7) 年表中 F について、①蘇我氏を倒した中心人物を 2 名あげよ。②この改革を何というか。
- (8) 年表中 G の戦いを何というか。
- (9) 年表中 H について、①この内乱を何というか。②この内乱に勝利した人物は即位して何天皇になったか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)①	
②	(8)	(9)①	②

[解答](1) 聖徳太子 (2) 法隆寺 (3) 冠位十二階 (4) 十七条の憲法 (5) 遣隋使 (6) 唐 (7)① 中大兄皇子, 中臣鎌足 ② 大化の改新 (8) 白村江の戦い (9)① 壬申の乱 ② 天武天皇

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 593 年、聖徳太子は①何という天皇の、②何という地位について、政治改革をすすめたか。
- (2) 聖徳太子はどのような政治をめざしたか。「仏教」「天皇」という語句を使って簡潔に説明せよ。
- (3) 家柄にとらわれず、才能や功績のある個人を役人に取り立てるために、聖徳太子が定めた制度は何か。
- (4) 聖徳太子が定めた次の資料について各問いに答えよ。
一に曰く、(A)をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗とせよ。
二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは(B)・法・僧なり。
三に曰く、C 詔をうけたまわりては必ずつつしめ。
 - ① この資料を何というか。
 - ② ①は誰の心構えを示したのか。漢字 2 字で答えよ。
 - ③ A, B に入る文字を答えよ。(ともに漢字 1 字)
 - ④ C の「詔」とは何か。
- (5) 6 世紀末に中国を統一して強大な帝国になった国を何というか。
- (6) 聖徳太子は、607 年、(5)の国に使いをい送ったが、①この使節を何というか。②①として派遣された人物を 1 人答えよ。
- (7) 聖徳太子が建てた右の寺は何か。
- (8) (7)に代表される、日本で最初の仏教文化を何というか。
- (9) 聖徳太子の死後、勢いをふるった豪族は何氏か。
- (10)645 年、(9)の豪族がほろぼされ、新しい政治のしくみをつくる改革が始まったが、この改革を何というか。
- (11)(10)の改革で土地と人々を国が直接支配する方針が示された。これを何というか。
- (12)663 年に起きた白村江の戦いは、①日本が朝鮮半島の何という国を助けるために出兵し、②どこの国(2 つ)と戦ったか。
- (13)(12)の後、中大兄皇子は即位して何天皇になったか。
- (14)672 年、(13)の天皇のあとつぎの地位をめぐる内乱が起こったが、①何という乱か。②この内乱に勝利した人物は即位して何天皇になったか。



[解答欄]

(1)①	②		
(2)			
(3)	(4)①	②	③A
B	④	(5)	(6)①
②	(7)	(8)	(9)
(10)	(11)	(12)①	②
(13)	(14)①	②	

[解答](1)① 推古天皇 ② 摂政 (2) 仏教を重んじ、天皇を中心とする政治。(3) 冠位十二階 (4)① 十七条の憲法 ② 役人 ③A 和 B 仏 ④ 天皇の命令 (5) 隋 (6)① 遣隋使 ② 小野妹子 (7) 法隆寺 (8) 飛鳥文化 (9) 蘇我氏 (10) 大化の改新 (11) 公地・公民 (12)① 百済 ② 唐, 新羅 (13) 天智天皇 (14)① 壬申の乱 ② 天武天皇

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

聖徳太子は推古天皇の(①)として、A かんむりの色などで地位を区別する(②)の制度を設け、(③)の憲法を定めて役人の心得を示した。また、B 中国に(④)使を派遣した。聖徳太子は深く仏教を信仰し、(⑤)寺を建てた。C この時代の文化を(⑥)文化と呼んでいる。

7 世紀の中ごろ、国内では、蘇我氏の独裁的な政治に対する不満が高まっていた。こうした中で、D(⑦)皇子は 645 年、(⑧)などとともに、蘇我蝦夷・入鹿の親子を倒し、新しい政治の仕組みをつくる改革を始め、それまで豪族が支配していた E 土地と人々を国家が直接支配することとした。

663 年の F(⑨)の戦いで唐と新羅の連合軍に敗れた後、(⑦)皇子は大津宮に都を移し、ここで即位して(⑩)天皇となり、はじめて全国の戸籍をつくるなど、政治の改革を進めた。(⑩)天皇の没後、あとつぎをめぐる(⑪)の乱が起こった。大友皇子に勝って即位した(⑫)天皇は新しい政治のしくみを強力につくり上げていった。

(1) 上の文章中の①～⑫に適語を入れよ。

(2) 下線部 A の制度の目的を「家柄」「才能や功績」という語句を使って簡潔に説明せよ。

(3) 下線部 B について、次の資料はこのとき中国の皇帝に渡した手紙である。下線部アと下線部イにあてはまる国の名前を答えよ。

ア 日出づる処の天子、書をイ 日没する処の天子にいたす。つつがなきや・・・

- (4) 下線部 C について、この文化の特徴を簡潔に説明せよ。
 (5) 下線部 D のできごとを何とよいか。
 (6) 下線部 E を何とよいか。
 (7) 下線部 F の戦いで日本が助けようとした国はどこか。

[解答欄]

(1)①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
(2)			
(3)ア	イ	(4)	
(5)	(6)	(7)	

[解答](1)① 摂政 ② 冠位十二階 ③ 十七条 ④ 遣隋 ⑤ 法隆 ⑥ 飛鳥 ⑦ 中大兄
 ⑧ 中臣鎌足 ⑨ 白村江 ⑩ 天智 ⑪ 壬申 ⑫ 天武 (2) 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため。(3)ア 日本 イ 隋 (4) 日本で最初の仏教文化である。(5) 大化の改新 (6) 公地・公民 (7) 百済

[印刷/他の PDF ファイルについて]

※ このファイルは、FdData 中間期末社会歴史(7,800 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 中間期末社会歴史は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は <http://www.fdtype.com/dat/> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData2)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイルを自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

※ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd 教材開発】(092) 404-2266

<http://www.fdtype.com/dat/>